

2 教員採用選考について

1 趣旨

愛知県では、「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とした教育を進めるため、次のような教師像を求めている。

愛知が
求める教師像

- 1 広い教養と豊富な専門的知識・技能を備えた人
- 2 児童生徒に愛情をもち、教育に情熱と使命感をもつ人
- 3 高い倫理観をもち、円満で調和のとれた人
- 4 実行力に富み、粘り強さがある人
- 5 明るく、心身ともに健康な人
- 6 組織の一員としての自覚や協調性がある人

2 選考の種類【令和5年度（2023年度）採用選考試験】

- ① 一般選考
- ② 英語有資格者特別選考 [第2次試験の実技試験免除]
- ③ 昨年度の補欠者に対する特別選考 [第1次試験の教職・教養免除]
- ④ 元教諭・講師経験者特別選考 [第1次試験の教職・教養免除]
- ⑤ 現職教諭特別選考 [第1次試験の教職・教養免除]
- ⑥ 教職大学院修了見込者特別選考 [第1次試験の教職・教養免除]
- ⑦ 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考 [第2次試験の個人面接のみ]
- ⑧ 介護理由退職者特別選考 [第2次試験の個人面接及び
介護理由退職者特別選考論文のみ]

3 第1次試験加点項目

- ① 司書教諭
- ② 大学推薦
- ③ 外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピノ（タガログ）語）堪能者
- ④ 社会人
- ⑤ 特別支援教育
- ⑥ 小学校英語

4 障害者選考（別枠選考）

- ① 障害者選考
- ② 障害者大学推薦選考

5 採用選考試験の日程【令和5年度（2023年度）採用選考試験】

受験案内・願書配布	4月26日（火）～
願書受付	4月26日（火）～5月13日（金）
受験票ダウンロード	6月24日（金）
第1次試験	7月23日（土）
第1次試験結果通知	8月9日（火）
第2次試験	8月18日（木）・8月19日（金）
第2次試験結果通知	9月27日（火）

6 採用選考試験の実施状況【令和5年度（2023年度）採用選考試験】

区分教科（科目）	募集数	受験者 A	合格者 B	補欠者	倍率 A/B	区分教科（科目）	募集数	受験者 A	合格者 B	補欠者	倍率 A/B	
小学校教諭	900	2,009	900	130	2.2	国語	38	147	38	10	3.9	
中学校教諭	国語	57	160	57	18	2.8	地理歴史	32	178	32	8	5.6
	社会	43	239	43	20	5.6	公民	2	61	2	1	30.5
	数学	58	187	58	15	3.2	数学	20	196	20	7	9.8
	理科	65	102	65	17	1.6	理科	20	160	20	6	8.0
	音楽	22	88	22	6	4.0	音楽	2	17	2	1	8.5
	美術	15	50	15	4	3.3	美術	2	18	2	2	9.0
	保健体育	35	453	35	8	12.9	保健体育	20	257	20	4	12.9
	技術	16	20	16	0	1.3	家庭	10	39	10	1	3.9
	家庭	15	33	15	4	2.2	英語	45	118	45	12	2.6
	英語	74	191	74	30	2.6	商業	15	54	15	3	3.6
小計	400	1,523	400	122	3.8	工業	27	48	27	1	1.8	
特別支援学校教諭	100	318	100	19	3.2	農業	6	19	6	1	3.2	
小中学校養護教諭	45	374	45	7	8.3	看護	2	2	2	0	1.0	
県立学校養護教諭	5	44	5	2	8.8	情報	8	37	8	2	4.6	
栄養教諭	10	101	10	3	10.1	福祉	1	6	1	1	6.0	
						小計	250	1,357	250	60	5.4	
合計							1,710	5,726	1,710	343	3.3	

7 昨年度からの変更点

(1) 主な変更点

- ・原則としてインターネット（電子申請）による出願とした。
- ・小論文を第1次試験で実施し、全ての受験生の小論文を評価し、第1次試験の選考に用いた。
- ・すべての受験生に対して、面接委員に民間人が入るようにした。

(2) 変更したことによるメリット

受験者側

- ・電子申請に移行することで受験者の出願に対する負担が軽減された。

運営側

- ・人物重視の選考を進め、優秀な人材の確保につなげることができた。

8 次年度に向けて

優秀な人材を確保するため、特別選考の実施内容の見直しや特別支援学校教諭の出願要件の緩和、加点項目の追加について検討している。また、新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者への救済措置を実施する方向で検討している。本年度の反省等を踏まえ、より良い採用試験になるよう努めていきたい。

9 今後に向けて（中長期的視野で）

課題 志願者数減少への対応

【現状】

- ・教員志望者は減少傾向が続いてきたが、本年度は36名増加した。
大学新卒志願者は2年続けて増加している。

	志願者数	前年度比	大学新卒志願者数	前年度比
2023年度採用選考試験	6,408名	36名	2,627名	180名
2022年度採用選考試験	6,372名	▲149名	2,447名	142名
2021年度採用選考試験	6,521名	▲235名	2,305名	▲15名
2020年度採用選考試験	6,756名	▲716名	2,320名	▲307名
平成31年度採用選考試験	7,472名	▲316名	2,627名	▲190名

- ・教育実習生は減少傾向が続いてきたが、2年続けて増加している。

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小中学校	2,198	2,115	2,113	2,054	2,048	2,128	2,158
県立学校	876	829	818	707	708	707	707
合計	3,074	2,944	2,931	2,761	2,756	2,835	2,865
前年度比	▲104	▲130	▲13	▲170	▲5	79	30

- ◎ 教員採用選考試験の早期化や複数回実施について、国は方向性を示すとともに各自治体や大学など関係機関と協議を進めており、愛知県でも、今後実施時期を民間企業の採用と同時期に早めることや、教員採用試験を複数回実施することなどの検討を進めている。本年度の反省等を踏まえ、より良い採用試験になるよう努めていきたい。